

「リニモとことん語る会」ー交通まちづくりからエコモビリティライフを考えるー

リニモねっと

長久手市

団体概要

団体名： リニモねっと

代表者： 世話人代表 島田 善規

団体目的： リニモの利用促進を図り、公共交通としての役割を持続的に果たすことに寄与するとともに、リニモを活用した環境にやさしい交通体系を実現し、愛・地球博の成果を継承した住みよいまちづくりを進める

活動地域

リニモ沿線地域

取組の経緯・背景と目的

リニモについては地元などに強い否定的な評価が残っており、公共交通に対する一般的な評価だけから話を始めることができないという特殊な状況にあり、交通まちづくりに関連する深い理解を得なければならないという課題があった。そこで、地域の公共交通としての持続的な運行と、住みよいまちづくりへの活用を目指し、市民が主体となって鉄道事業者や行政と協働する組織として「リニモねっと」を設立している。リニモ沿線での複雑なジレンマを解消するため、十分な資料・情報提供や提言書の作成などを重視したWS（ワークショップ）的手法を用いて、交通問題の総合的な理解と交通行動の変容、および合意形成を図ることを重視した社会実験を試みることを目的としている。

モデル事業のポイントと取組内容

取組年度：平成21年度

■取組のポイント

- ・地域住民や個人を対象としたワークショップによるモビリティ・マネジメント(参加者の意識変化)の実施
- ・市民団体が主体となった話し合いの場の設定
- ・熟議(とことん議論すること)の手法による課題の共有と合意形成

■取組内容

○「リニモとことん語る会」の実施

- ・市民から参加者を公募し、9回のワークショップ形式の話し合いを実施。
- ・毎回アンケートを実施し、参加者の意識の変容を把握。
- ・自治体や愛知高速交通(株)等に論点を整理する詳細な資料提供を依頼するとともに、専門家の講演会を2回含んで討議を重ね、結果として、民間と行政の共同実施を含む提言書を作成。



「リニモとことん語る会」の会議風景



専門家による講演会

■取組における展開方法・工夫等

- ・市民レベルでも内容の濃い熟議を実施するため、専門家からのプレゼンテーション、資料・情報の提供、討議などにより、交通問題、環境問題を深く理解することに努めた。
- ・モビリティ・マネジメントが目的とする市民の交通行動の変容に向け、熟議の手法を用い、各回ともアンケートを実施して意思と交通行動の変化を把握することに努めた。
- ・会の運営ルールや目的をあらかじめ参加者に確認し、テーマを絞り拡散しないようにするなど、リニモの未来に対して対立的な意見がある中で、住民同士が理性的に話し合いをするよう努めた。

■取組の効果

- ・リニモの財政問題も絡んだ複雑なテーマであったが、市民団体が主催することにより、対立的・攻撃的ではなく、内容の濃いWSを実施することができた。
- ・専門家の説明、詳細な資料等により、交通問題、財政問題、サービス改善や協働の重要性と困難さなどについて参加者の理解が深められた。
- ・討議などにより、ニーズを顕著化させる（需要を増やす）取組への協力や「エコモビ」について、一定の意識の変化をもたらした。
- ・協働実施を重視した責任のある提言・要望の抽出を図った。

モデル事業実施後の取組

■取組内容

○「リニモウォーキング」への協力参加

平成19年より開催されている「リニモ新緑ウォーキング」「リニモ秋色ウォーキング」「リニモ早春ウォーキング」に受付、コース案内等で運営協力を継続。平成22年度には年間13回、約18,300人の参加があり、リニモねっとの呼び掛けで延べ290人のボランティアが協力。

○「リニモ・ボランティアガイドツアー」の実施

リニモに親しんでもらい利用促進につなげようと平成22年度より始動。1年目にガイド養成講座を実施し、2年目からガイドツアーを実施。



リニモウォーキングの様子

○「リニモ de 夏休み」「リニモクリスマストレイン」への協力参加

毎年行われている夏の「リニモ de 夏休み」、冬の「リニモクリスマストレイン」にもボランティア参加。

○リニモとまちづくりのあゆみ写真展の開催（平成 23 年度の企画）

リニモが開通する前の風景や、開通して都市化が進んだ風景などの写真提供を呼びかけ、平成 23 年 12 月から平成 24 年 1 月に愛・地球博記念公園駅で、2 月にはアピタ長久手店でそれぞれ開催。

○情報発信

ホームページ（ブログ）での情報発信、会員向けのニュースレターの発行等を実施。



ボランティアガイドツアーの様子



イルミネーション・トレイン



写真展

■取組における展開方法・工夫等

- ・リニモを楽しんでもらい親しみをもってもらうため企画を展開し継続。
- ・リニモ沿線地域では他団体による取組が実施されており、その企画にボランティアとして参加することで他団体とのネットワークを広げ活動。

■取組の効果

- ・「リニモとことん語る会」は、新聞等にも何度か取り上げられたことで、リニモや沿線を考える別のグループが立ち上がっており、リニモを多くの方に考えてもらうきっかけとなった。
- ・他団体のイベントに参加することで、ネットワークが構築され、リニモの啓発や利用促進の取組を行う際に、幅広く情報が伝えることが可能となった。

今後の課題及び展望

- ・継続的な活動をするための資金確保のため、自治体や沿線の企業などからの資金協力を得るための仕組みづくりが今後の課題。
- ・平成 27 年には、リニモ開業 10 周年を迎えるため記念冊子を企画検討予定。

関連ホームページ 「リニモねっと Blog」 <http://plaza.rakuten.co.jp/linimonet/>